

教育委員会だより

令和8年4月24日号 多治見市教育委員会 教育総務課

くめざす子ども像
お互いを尊重し、
主体的に学び、
挑戦する多治見の子

“挑戦”と“Update” ～R8教育行政の重点施策～

本年度は、第3次多治見市教育基本計画(R5～R9)の4年次となり、本計画の評価検証を進め、次期計画の調査研究を始める年です。これまで蓄積した成果はアップデートしてさらなる成果に、課題に対してはあきらめず挑戦してどんなに小さなことでもいいので改善という名の成果にしたいと考えます。それが、次期計画への基礎資料となり、本市の教育がアップデートされます。

それでは、本年度の主な施策を紹介します。(下線部は、新規のもの)。

1 子どもの体力・学力を高める教育の充実

- (1) Wi-Fi環境の再整備とデジタル教科書・指導書導入や体育館空調整備による運動機会の確保など、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実の推進
- (2) 部活・クラブ推進員の配置による部活動地域展開の具体的な推進

2 不登校減少をめざした学びの多様化への対応と子どもの居場所づくりの充実

- (1) 教育支援センターさわらびと校内教育支援センターの棲み分けと機能拡充
(児童生徒や保護者のニーズに対応できる多様な居場所づくりの推進)
- (2) 不登校児童生徒に寄り添うトライサポーターを増員(計8校)

3 笠原小中学校の取組を活かした市小中一貫教育基本方針に基づく取組の推進

- (1) 義務教育学校での知見の蓄積と、他の中学校区懇談会への情報展開
- (2) 中学校区懇談会や教育長訪問における幼保小中教職員の相互参観

4 教職員の働き方改革とスクールロイヤー配置等による職場環境改善への支援

- (1) 働き方改革2026と業務量管理・健康確保措置実施計画の確実な運用
- (2) 法的判断を要する事案への相談体制の充実

5 学校・地域の実情(少子化等)や多様なニーズに応じた特色ある教育活動の推進と学校の在り方に係る研究の推進

- (1) 市内全小中義務教育学校の学校運営協議会設置による地域連携の強化
- (2) 少子化に伴う学校の在り方検討会の実施
- (3) 学校給食費無償化(負担軽減)の実施と給食費公会計化に向けた準備
- (3) インクルーシブ教育の推進による特別支援教育の充実と福祉・療育との連携
- (4) 看護師、キキョウスタッフや日本語支援員等、各種支援体制の充実

6 精華小学校の建て替えに向けた検討の開始

ようこそ多治見へ！ ～転入教職員受入れ式～

4月1日水曜日、とうしん学びの丘エールにて「教職員辞令交付式及び転入教職員受入れ式」を行いました。今回の人事異動では、校長6名、教頭7名をはじめとして、例年よりも多い合計55名の教職員を迎えました。久しぶりに11名もの新規採用職員を迎えることができ、若くエネルギーにあふれる教育への期待が高まります。

教職員の代表として、共栄小学校の山内校長が仙石教育長より辞令を受け、転入の挨拶と決意を表明しました。その爽やかな語りの中に「多治見市でともに頑張りたい」という熱い思いを感じることができました。

教育長からは、昨年に続き「挑戦」「風通し」「アップデート」の話がありました。教育委員会としては、それぞれの部署が一枚岩となって、この3点についてさらなる磨きをかけ、学校を支えていきます。

令和8年度、市内20の小中義務教育学校6,896名(12小学校4,107名、7中学校2,307名、義務教育学校482名)の児童生徒の自立・共生・挑戦を、全教職員で支えます。ご理解とご協力をお願いします。

皆に祝福され開校式！ ～笠原小中学校～

4月7日(火)に東濃初の義務教育学校「笠原小中学校」の開校式が行われました。真新しい校旗が市長から校長へ厳かに手渡され、その様子をご覧になった校章のデザイナーである谷口様は大変喜んでみえました。新1年生を除く児童生徒による新たな校歌の歌唱もあり、作詞作曲に携わってくださった水野様・加知様・加納様からは「大変よかった」との感想をいただきました。

令和2年に研究会を立ち上げてから5年半、多くの方のお力添えをいただき開校式を迎えることができたのだと改めて感じます。地域の方や保護者の皆様など、関係していただいた多くの方々に祝福されてこの日を迎えることができました。新たな学校のスタートとしてこれほど嬉しいことはありません。

ピカピカの校舎に子どもたちの声が変わり、笠原小中学校の歴史が始まりました。義務教育学校の「挑戦」の始まりです。子どもと教師、保護者と地域の方の総力により「どんな学校になっていくのか」わくわく感でいっぱいです。

